



発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会  
会 長 杉浦 重治  
編 集 会 報 委 員 会  
事 務 局 〒113-0023  
文京区向丘1-11-18 向丘高校内



川越祭り 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

## 同窓会からのお知らせ

### 1. 同窓会からのお知らせ

令和3年に同窓会会長宮久保渡氏が逝去されてから、本会会則第4条2項により副会長の杉浦重治氏（昭和40年卒）が会長代行を務めてまいりましたが、令和4年4月24日の総会におきまして改めて杉浦重治氏が会長として選任されましたことをご報告いたします。

### 2. 同窓会総会 令和5年4月23日（日）

場所：向丘高等学校6階多目的ホール

受付：13：30～

開始：14：00～会務・会計等の報告・審議

記念アトラクション：15：00～15：40

軽音楽部及びダンス部

（後輩たちの演奏・演舞をご鑑賞下さい）

会費：無料

但し左記の行事は、もしも新型コロナウイルスまん延防止措置及び緊急事態宣言が発令された場合は、中止いたします。最新情報はホームページでご確認ください。

(<http://www.mukougaoka-yayoikai.jp>)

### 3. 学校訪問（ホームカミングデー）

未だコロナ禍のため本年度も未定、最新情報はホームページでご確認下さい。

総合問合せ先

〒121-0831

東京都足立区舎人3-11-26EPS

(株)同窓会事務局

Tel 0120-10-9899（内線77）

平日10：00～17：00（土日、祝を除く）

Fax 0120-10-9184（終日受付）

<http://www.egaomax.com/>

い 挨拶

会長就任の挨拶



同窓会会長  
昭和四十年卒  
杉浦 重治

令和四年四月二十四日総会にて会長に就任いたしました杉浦重治です。前年、宮久保渡前会長の急逝により会長代行を務めてまいりましたが、会務運営にあたりその都度進め方に不明な点が多く、各方面の方々のご協力ご指摘を戴きながらなんとか総会開催に至ることができました。

会長引き継ぎにあたっては、歴代会長の志を継承し、同窓会財政の充実、会員名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方・PTAとの緊密な関係の継承、母校及び在校生への応援活動、同窓会ホームページの充実、同期会・クラス会・クラブのOB会開催を促し、会員相互の交流・親睦を図るため尽力を尽くして行きたいと思えます。

今後も課題となつている、役員と会員・会員同士の交流、幹

事会体制の整備、同窓会・同期会などの会員への十分な情報発信等の改善に努めて行きたいと考えています。

また、母校に於かれましても、校長先生をはじめ先生方にとつて大変ご苦勞の多い状況下にあるかと思われます。同窓会としてもコロナ禍の中ですが、可能な限り母校及び在校生への応援活動をして行きたいと思えます。コロナ禍により役員会の会場確保や審議にも少なからず影響を受けております。

同窓会運営に当たつて現在大きな課題を抱えております。会員数の増加に伴う会報発行部数の増加、社会情勢の変化に伴う入会金の検討、会費収入の伸び悩み。その為、収支のバランスに影響が出てきています。

役員会としては早急に課題解消に努めて行かねばならず検討を重ねておりますが、皆様からもお知恵・ご協力を頂き会務を進めてまいりたいと思えますので宜しくお願いいたします。



コロナ禍の向丘高校の歩み



校長  
赤嶺 治

都立向丘高等学校同窓会員のみなさまには平素よりご支援ご協力いただき感謝申し上げます。私は、令和四年四月一日付で着任致しました校長の赤嶺治です。どうぞよろしくお願い致します。

令和二年度から令和三年度にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全国一律の学校閉鎖や密を避けるためにクラスを分割して登校時間をずらす時差登校などが行われました。当時は、過去に例を見ない対応のため、在校生のみならず、教職員についても先の見通しが立たない不安な毎日を送っていました。そのような中でも、健康と安全のために全教職員が協力して学校を支えることで、生徒の学校生活を維持して参りました。

多くの学校行事が中止や、規模を縮小してやらざるを得ない状況が続いたため、第七五期生については、入学式や遠足、文

化祭など、入学時に思い描いていた行事もほとんどは行うことができませんでした。

令和四年度についても、新型コロナウイルス感染症は、オミクロンなどの変異株の発生の度に感染拡大と収束を繰り返している状況です。しかしながらこの二年間の生活により、新型コロナウイルス感染症に対する知識及びワクチン接種の普及により、感染予防対策を行いつつ、学校における教育活動を対面で継続して行う方向へ変化してきています。いわゆるウィズコロナという対応です。本校においてもコロナ禍以前の状況にはまだまだ戻せませんが、規模を縮小しながらも学校行事を実施し、生徒が少しでも充実した学校生活を取り戻すことができるよう取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症が学校における教育活動に大きな影響を与えてしまう原因の一つは、食事に伴う感染リスクが最大であるという点です。そのことで、学校行事においても食事をとらず、半日を単位として実施する時間的制約が生じています。その外にも密を回避しなければならぬための場所・空間的制約。対話による飛沫感染を避けなければならぬために生じるコミュニケーション手段の制約などもあります。いわば、一斉学習や

集団行動を基本としたこれまでの教育スタイル、方法が実施できないため、新たな手段を見出し、確立することが求められています。

そのような状況ではありませんが、向丘高校は、東京都教育委員会による四種類の研究校指定を受けています。このような活動に取り組むことができていのも、本校教職員の高度な研究開発力と授業力の裏付けが有るからです。

昨年度までのSociety 5.0に向けた学習方法研究校を継承し、今年度は新たにデジタルリーディングハイスクールとして、生徒の定期考査や観ポイント到達度を分析し、結果をエビデンス(根拠)とした個別最適な学習支援を行う研究に取り組んでいます。

また、進学指導研究校として、生徒の模擬試験の採点結果を基に弱点の克服や進路希望に適した過去問指導、卒業生の可否結果等の分析に基づく志望校の選択に取り組むことで、進学実績の改善につなげています。

更に今年度から理数研究校として、理数分野への興味・関心が高い生徒に対し、仮設と検証を行わせる探究活動に取り組みさせることで深い思考と観察力を育み、理系学部進学への進路実

現を後押ししています。

新聞記事教材として言語活動の充実及び時事問題への関心と教養を高めるNIE実践指定校の活動は社会人として活躍するための土台ともなっています。

向丘高校は、価値観が多様化した現代においても、広く社会で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

同窓生の皆様におかれましては、在校生の活躍を期待し、応援して頂きますようお願い致します。末筆ながら、本校同窓会が、ますます発展されることを祈念しております。

生徒の

明るい未来を信じて



副校長 石井 久美子

東京都立向丘高等学校同窓会役員のみなさま、会員のみなさまには日頃より大変お世話になり、心よりお礼を申し上げます。

私は令和五年三月のみなさまとのお付き合いも丸四年になりました。四年前の総会に、当時の加藤孝行校長と参加させていただいた時の写真が手元にあり、

故宮久保渡会長も笑顔で写っていらつしゃいますのを折に触れて目にしては懐かしんでおります。一方で、四年経ったということは私自身も四つ年を重ねた、ということになります。向丘高校での日々を改めて振り返りますと、六十歳という人生の大きな節目から新たな人生が始まったかのように新鮮で生きがいを感じながら、先生方のお力も借りしてこの仕事に取り組みできましたという思いが強くいたします。

一年目の三学期からは、コロナ禍での教育活動を強いられ、長期の休業を余儀なくされたことと、生徒にとつても先生方にとつても本当に辛いことでした。しかし、そのような状況においても先生方は、オンラインを活用して授業やホームルーム、部活動で生徒と繋がり、どのような形でも教育活動を継続しようと努力されたことに本当に頭が下がりました。オンライン授業を全教員で実施しようと校内研修会を設定し、若手の先生方が試行錯誤してスキルアップを目指す一方で、ベテランの先生方もできることから始めよう、わからないことは教えてもらおうという、新しいことに挑戦する積極的な姿勢で、早い時期に時間割通りのオンライン授業ができ

たことは先生方の努力の賜物であり、先生方が一丸となって取り組んだ成果として今でも鮮明に思い出すことができます。その後もコロナに振り回された二年間でしたが、幸いにも現在はある程度の制限を除けば通常の教育活動が継続できており、今後は現状から徐々にでも回復してコロナ前の日常が戻ることを祈るばかりです。

このような状況の中で、昨年は三学年が七月に二学年が十二月に修学旅行を実施することができました。

三学年は日程を二度延期し行先も九州から関西へ変更して、食事も部屋ごとにとるなど、徹底した感染防止対策の下、何とか実施できましたが、この学年は入学式ができず学校行事も中止や縮小して実施してきた学年です。どのような形であれ修学旅行が実現し高校生活最高の思い出作りができたことは、生徒はもちろん、保護者の皆様も心から喜ばれたのではないでしょう。二学年も実施に向けて様々なコロナ対策を施す必要があったため、担任団、特に担当の先生は相当ご苦労されたと思います。でも生徒たちの心から嬉しそうに、楽しそうな姿を見るのができてそれまでの苦労も報われたはず。私も同行した

長崎、福岡での三泊四日の行程は天候にも恵まれ、参加生徒全員が高校生活最高の思い出と両手に持ちきれないほどのお土産を持って無事羽田に到着しました。私にとってもコロナ下で実施できた今回の修学旅行は特に感慨深いものになりました。

最後に、このようなコロナ禍においても決してくじけることなく、自身を信じて目標に向かって頑張る本校生徒の未来が明るく確かなものになるよう、これからも校長はじめ先生方とともに応援したいと思っております。

そして、みなさまの後輩が、向丘高校で学んだことを礎に、明るい未来を築いていくことができるよう、今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。とともに、本校同窓会のますますのご発展とみなさまのご健康を祈念いたします。

**向丘高等学校軽音楽部  
全国高総文祭生徒委員  
としての取り組み**

向丘高校 総務部主任 主幹 教諭  
軽音楽部顧問 片桐 慶久

運動部のインターハイに相当する、文化部の全国大会「全国

高等学校総合文化祭」が今年度東京で「とうきょう総文2022」として開催され、その協賛部門大会として、軽音楽部門は開催が許可され、二年前から部門内で生徒委員会を発足させて取り組みを始めました。

向丘高校軽音楽部は、外部の大会出場経験がほとんどありませんでしたが、三年前より向丘高校が都高文連軽音楽部門事務局となり、生徒委員会参加の意欲が強い部員が多いため、生徒委員に立候補をし、他の高校と共に活動を始めることとなりました。

六年目となる全国高総文祭軽音楽部門大会の今大会に向けて、生徒委員会では①生徒委員主体の大会②歴代最多出場校参加③部員自身作成のオリジナル曲のみ演奏④実のある交流会開催⑤特別支援学校との交流など、いくつもの大きな目標を立てました。

しかし新型コロナウイルスの影響で、一年以上も大会運営経験ができず、他校委員との会議もオンラインのみという、経験も効率も悪い状態のまま準備を進めることになりました。

大会成功に向けて、向丘高校の部員は、全ての係の中心を務め、他校の生徒委員との協議結果をまとめ、都の大会実行委員会へ

要望を出す窓口となりました。また都内高文連加盟校に対して協力や参加を呼びかけ、他府県の高校軽音楽部員とも連絡を取り、大会資料の作成や、交流会の準備を進めました。さらに特別支援学校と交流をして、閉会式での合同演奏に備えました。

大会は、ロックの殿堂中野サンプラザにおいて、全三日間三十一都道府県五十六バンドによる全曲オリジナル曲演奏という、とても創造性あふれる演奏会となり、昼食時の交流会でも参加校部員同士深く交流ができ、大成功でした。特別支援学校との交流、皇室のご観覧など、大会の内容は新聞やテレビでも取り上げられました。

一方で向丘高校軽音楽部の部員は総文祭の全体行事である総合開会式やパレードにて重要な係を任せられ、軽音楽部門代表としての役割を果たしました。

総文祭という大会を通して、この二年間、向丘高校軽音楽部は大きく成長できました。今後の活動に活かしていきたいです。

**【令和四年十一月二十日東京都  
高等文化祭軽音楽部門大会中央  
大会（決勝）】**

二年生バンドねこかぶりが、福生市民会館で開催された都大

会、東京都教育委員会主催東京都高等学校文化祭中央大会に出場しました。

向丘高校は、中央大会進出は二年続けての出場となりました。地区大会を勝ち抜いた二十五バンドが熱演をし、レベルの高い大会になりました。

ねこかぶりもとても頑張ったのですが、入賞には届きませんでした。今回の反省を活かし、来年頑張ります。



同窓会総会報告



同窓会総会は、令和四年四月二十四日(日)十四時より、母校向丘高校六階多目的ホールにて開催されました。浦野副幹事長の司会により、杉浦会長代行の挨拶の後、全員で校歌斉唱して議事が開始されました。議長は規約に従い杉浦会長代行が務め、①報告事項(事業報告・決算及び監査報告)をそれぞれの担当



総会コンサート風景



役員紹介

役員が報告し、それぞれ承認されました。引き続き②審議事項(事業計画・予算案・役員選任)が提議され、それぞれ満場一致で承認されました。十五時から本校吹奏楽部による演奏会となり、後輩たちの丁寧な演奏に気持ちがあつた時間となりました。コロナ禍により飲食を控えた総会でしたが、久しぶりに母校を訪ねることができたと喜んでくださる声もあり、母校で開催できたことを有難く思いました。

第九回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会に参加しました

本校生徒が出場(本校ホームページより抜粋)

令和五年一月二十二日(日)立命館大学大阪いばらきキャンパスグランドホールに於いて「第九回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会」が行われました。残念ながら、決勝に進むことはできませんでしたが、都道府県の代表四十四名の中、気後れすることなく、堂々と発表を行いました。

この活動は、学習指導要領で求められている言語活動の充実に向けて、生徒の読書活動の一層の推進及び言語能力の向上を図る目的で行われています。



どんなときも。



PTA会長 上ノ町 奈津子

令和三、四年度のPTA会長を務めさせていただきました。

三年前、向丘高校の合格発表を子どもと一緒に見に行き、二人でほっと安堵し、これから始まる高校生活を想い幸せな気持ちになったことを今も覚えています。

しかし、コロナによって入学式での晴れ姿を見ることができないままスタートしたことは、やるせない思いでいっぱいになり、これもまた忘れることができませぬ。

また、同窓会の皆様とも交流することが叶わず残念でした。

自粛三昧の令和二年度を経験した私たちは、この不毛な時代に何が出来るのかを考えた令和三年度、そして、これまでの常識を変えていった令和四年度と過ごしてきました。

PTA活動においても、例年であれば学校行事のなかで、子どもたちの学校生活を垣間見ることが、役員を引き受ける醍醐味の一つだと思えます。

その学校行事自体が中止や活

動制限となり、活動したくてもできないという状況が続きました。

それであれば、こんな時だからこそ！やれることは何か！を考えてみよう。

一般的に昨今のPTAの困りごとといえば、次年度の役員決め“であることは否めません。

なぜ困るのか。それは、PTAのしくみが今の時代にマッチしていないからです。

委員会による仕事の線引きや、クラスから何人という人数の決まり、一年間という期間の縛り。

高校は、保護者と子どもにとっても最後のPTAです。胸の内は少しでも関わりたいと思う保護者は多いはず。関わりたい方々が関わりやすい仕組みづくりを考えていきました。そして、

”できる時に、できる事を、できる人がやるPTA活動“を行っていただくことが向丘では可能になりました。

こうした思いを実現するにあたり、皆さんにその真意をお伝えすること、会則を変えていくこと、たくさんの”こと“を仲間とチャレンジしていきました。

令和四年度は、そんな新しい向丘PTAに七十名もの方が参加したいと手をあげてくださいました。

コロナにより、PTA組織自体

を無くしてしまつた学校もあると聞きました。PTAは保護者同士、そして保護者と学校を繋ぐ大切な組織です。

保護者がPTAを通して学校を知り、子どもたちの学校生活を知ることができます。二年間の大役を通して、どんなときも、今より良くなるにはなにをすればいいのかを考え行動し、その過程も楽しめる環境をつくれることを学びました。一緒に進んでくれた沢山の仲間との出会いに感謝しています。ありがとうございました。

昭和五十五年卒  
浦野 良一  
(向丘五十五年会発起人)

### プチ【向丘五十五年会】

昭和五十五年卒

浦野 良一

(向丘五十五年会発起人)

二〇二〇年一月十五日新型コロナウイルス(COVID-19)が日本で発生してから約三年になります。二〇二二年、感染拡大&縮小を繰り返しながらwithコロナ!!

今年はずいぶんイベントやスポーツ観戦等々規制が緩和され、街中に賑わいが少しずつではあります。戻ってきました。

五十五年会では大人数での会は勿論のこと控えておりますが、この秋私の地元である川越市が市政一〇〇周年を迎え、ユネス



コ無形文化遺産に登録されている『川越まつり』が十月十五日、十六日に開催され、通称プチ五十五年会「小江戸会」メンバーが集まり小江戸の街並み蔵造り中心に、和気あいあいと散策しながら三年振りのお祭りとお宴を楽しみました。(きゅうりの一本漬けを片手に地酒の升酒は格別に美味しかったです)

十一月に入り二十七日『小江戸川越ハーフマラソン大会』も開催されました。五十五年会より五人がエントリー、私自身は腰(ヘルニア)と膝(関節炎)が思わしくなく走れませんでした。が、六十歳還暦を過ぎた仲間たち10km組は見事に完走！ひとりハーフ21.1kmをチャレンジしていたので皆でゴール前にて激走をたたえ迎えていたのでありますが最後のランナーもゴール。走る前迄は一番コンディションもよかったです。何かあったか心配でしたが途中足切りになりリタイアに、無事で何より一安心でした。後の労い宴で大盛り上がりでした。

やはり締めくくりは十二月二十九日の会です。

企画自体に賛否両論あるかと思ひ正直躊躇いもありましたがお声かけして十二名の仲間たちが集まりました。還暦過ぎても向丘高校時代にかえり満面の笑

みがこぼれる楽しいひと時を過ごせました。いつも笑顔で語り合える【向丘五十五年会】はほっこり安心できる仲間たちの憩いの集まりです。これからも大事にこの会を続けてまいります。

このやよい会報誌をお読みいただいている昭和五十五年卒の同期生の皆さまへこちらの会に参加してみませんか。お気軽にご連絡ください。

## 会員のひろば

### 土曜のひまわり

昭和四十一年卒

尾道 郁代  
(旧姓大橋)

十一月二十六日向丘高校PTA主催のウーマンオーケストラに行ってきた。母校の体育館で一〇〇名位の保護者が集まっていた。

久しぶりに体育館へ入りました。十五時から始まり情熱大陸・ルリ色の地球・海の見える街・チェリー・ロビンソン・嵐のふるさと・ハピネス・カノンと八曲を演奏し、アンコールは「恋人たちのクリスマス」で終了しました。

チェロ、ヴァイオリン二名、ヴィオラ、ピアノ、パーカッション

で、六名の女性が見事な演奏でした。

生の演奏がこんなにも心に響くとは―間近で聞けるなんてなんと素晴らしいことでしょう。コロナ禍のため行事が制限されている中、今年からPTA改革をして行事毎に役員を決め活動しているとのこと。最後には三十人のチーム向丘全員が前に出て拍手の嵐でした。楽器が演奏できることは素晴らしいことです。感動をありがとうございます。



### 同窓会と私

昭和四十六年卒

笹山 幸子

二〇二二年四月二十四日、学校側の多大なご協力を得て、三年ぶりに同窓会総会が開催された。

久しぶりに懐かしい方々にお会いすることができ、感慨深いものがあった。別れ際に、来年また会おうと話し、長く繋げな

ければと使命感がこみ上げてきた。

未だに続くコロナ禍、先の見えにくいこの世の中で世界中の人々がどれほどストレスを抱え日々生活していることだろう。

自主的に極力自粛生活を続けており、運動不足で身体が悲鳴を上げたのを感じてようやくウオーキングに出掛ける私。この先どんな未来になるのだろうか、私は何の為に生きているのだろうか：そんな疑問を抱えながら、いやそんなこと考えずにまず今日を生きなればと自問自答している。

同窓会に関わり始めてから、もうかなりの年月が流れた。

しかしここに来て、支出の大半を占める会報関係費用増大の問題が年々鮮明になり、今年は例年になく頻繁に役員会が持たれた。どうしたらその費用を捻出できるのか？何を削減したら会報関係費用に充てられるのか？：が持ち帰り問題になった。寝ても覚めてもその捻出が頭から離れず、かといって解決策が全然思い当たらず、悶々とした日々を過ごしていた、あの二〇二二年猛暑の辛い日々が思い出される。私はなぜ何も手につかないほどこんなに悩んでいるのだらう？いっそ全てを放棄した、らなんと身軽になることだろう、

と私の中のもう一人の私が心の中で必死に叫んでいた。

未だに、これだ！というベストな解決策が見つかっていないが、それでも、ひとりで悶々とするよりも、役員会で皆と本音で話すと少しは気持ちが紛れる。さて、どんな方向に向かうのだろうか。

やはり会員の皆様に会費値上げの件について、ご理解とご協力を頂かざるを得ないのであるか？世の中あらゆる物価高騰の折、同窓会の会費まで値上げとは役員の一入として心苦しいばかりだ。

会報を同窓会のホームページに掲載したらどうか？という貴重なご意見も頂く。ホームページに掲載することになれば会員への発送費用はなくなるので、ある程度費用の削減は図られる。しかしながら、そこまで至る他の諸費用がやはりかかる。

会報誌が届くのを楽しみにしている、という嬉しくなる感想も届く。そのような声を耳にすると、なにはともあれ頑張っ繋げていこう、と思ひ直す。

また、毎年、会費等の振込用紙上で住所電話番号変更等をお知らせ頂いて、助かっている。一喜一憂しつつ、未来につなげていこう、と改めて思う今日この頃である。

## 同窓会役員をするまで



昭和四十九年卒

吉中 奈美子  
(旧姓沼倉)

高校の時の友達が、いなくなつてしまつた…

友達と再び会いたい、付き合いたいなあ。沸々と沸くこの三年でした。

同窓会から会報も来なくなつている。情報がない。同窓会に連絡取れるだろうか…PCで調べてみる。

会報を送つてほしいと希望をメールでやりとりする。

しかし送られてこない…どうしたのだろうか？悪い人にメールしてしまつたか、変な連絡が来てしまつたらどうしようか？日が過ぎていく…忘れた頃、同窓会会報が送付されてきた。いやいやいや、どうしたの…

会報を読んで、やっと理解することができた。

コロナが関係したとは思つてもみながつた。コロナはどんなところにも影響しているとかわかつてきたこの頃です。

会費を払う。寄付をする。友人の住所を知りたい等、頭に浮かぶ。

皆の住所を知り連絡したい、と

なると住所録はあるのかしらと考へて会報のなかの問い合わせ先と連絡を取る。価格などを聞きながら、一度役員会というところを見学してみようという考へが浮かび、見学ができるかと聞いたところ、出来ますよ、他の者から連絡しますが、よろしいですかとお返事をいただく。

もちろん承諾。お電話をいただき見学の日、駅で待ち合わせをしていただき、会場へ。二〇二二年の三月の事でした。

なぜか、もう役員になるような会話。次の集まりは、四月の同窓会総会でした。

雨の当日。果たして皆様は集まるのか。全くの初体験、何をしたらよいのやら。別に良いか、言われたことをすれば…

心配は無用でした。私はどのくらいの方が以前は集まつたのかは知りませんが、皆様の話に耳にすると、大勢というわけではないけれどそれなりに見えたのです。良かった、良かったです。

役員の皆様の前進行に従い、質疑応答もすっかり質問があり、検討をしていく道を作ってくださいました。

在校生のプラスバンドが始まると、いろんな曲の演奏がありびつくりでした。校歌だけかも、それだけで学校に来てくれてい

るのは大変だなあと心の中の声。その声も吹っ飛びました。今や演奏中に動くのは当たり前前、デイズ二一の曲等々。本当に有難いことだと感謝に堪えません。集合写真も撮りました。

今後は会報の在り方、費用などを考えることとなります。

私は、令和四年三月一日発行のやよい会報で、同学年の友人だった方二人の訃報を知りました。二人共同じクラスになったことがあり、ショックでしたが、会報で知ることになるとは思いもありませんでした。

私の人生での高校生活は、しりけの時代と言われる時でした。それでも高校にはそれなりに愛着があります。

過去一度だけ、学年の有志が学年会を開いてくださったことがありました。それは高校卒業後二十五年前後のころかと思ひます。本当に大変だったと今では思ひます、お疲れさまでした、今更かもしれませんが(笑)。二十五歳のころ両親の離婚により名前を選択できることになりました。結婚が、いつかわからなしいし、名前を変えるのもよいかもしれないと母方の名前を選択しました、沼倉から吉中です。どちらの名前もありそうでない名前ですね。過去一度の学年会では全員と話せることはなかつ

たので、ここにて自己紹介です。今後も皆様と会報が継続できるように、協力を願います。





# 寄付者・年会費納入者



2021・2022年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)  
 尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。  
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。  
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(2023年1月末日)

### 寄付者名一覧

- ◆旧職員  
江藤 鉄平  
久保 雄南  
能州 良彦  
森 正樹  
◆昭36年  
岩井 和子(大野)  
河野 洋子  
杉山 義典  
浜口 宗武  
眞部 千子(滝沢)  
森 絢子(小沢)  
◆昭37年  
市川 信敬  
河合 紀恵(平野)  
寺村 光司  
牧野 進  
宮下紀恵子  
◆昭38年  
平野 和子(矢野)  
◆昭39年  
荒川 正  
齋藤 昌利  
中谷富美子(吉野)  
湯浅美保子(奈良)  
◆昭40年  
秋山 浩一  
井上 芳子  
加藤 正子(竹倉)  
鐘江 昌美  
北島 益子  
新谷 重子(小沢)  
杉浦 重治  
高橋 重雄  
富永ヒロ子(小林)  
宮園 紘美  
◆昭41年  
尾道 郁代(大橋)  
坂井 右紀  
西村 允之  
長谷川三枝子(原)  
福原喜久枝(新井)  
◆昭35年  
五十嵐 光俊

- ◆昭52年  
溝口 進一  
◆昭42年  
大和田正子(五十嵐)  
菊池 武博  
杉崎 光明  
田所 徳文(浜田)  
◆昭43年  
皆川 和美  
岡村由利子  
湖山 均  
鈴木幹夫  
◆昭44年  
加藤 和子(堤)  
島田 和雄  
◆昭45年  
金澤 信子  
小林 正夫  
白井大治郎  
中村恵太郎  
宮久保順子(海老原)  
山口 義朗  
◆昭46年  
恩村 一郎  
小屋 良治  
笹山 幸子  
◆昭47年  
秋元 雅則  
江上 恵子(江上)  
栗原 弘  
佐川 海道  
佐々木郁子(遠野)  
森 正樹  
◆昭48年  
遠藤 清孝  
品田 秀子(佐藤)  
高根 優子  
並木 一成  
◆昭51年  
萩谷 忠  
藤原 雅和  
渡辺 陵子(木村)

### 年会費納入者一覧

- ◆昭55年  
門馬 宏子  
◆昭56年  
浅野 雄一  
新井 清一  
浦野 良一  
武智 弘英  
◆昭61年  
今井美代子(清水)  
金澤 祐  
◆平元年  
横山 信夫  
◆平5年  
塩野入 毅  
◆平7年  
宮久保明子  
◆平22年  
高崎 さつき  
◆平24年  
鈴木 麻美

- 上田 明  
内藤千恵子(浦野)  
中川 貴子(山崎)  
長縄 信孝  
中村 素子(河野)  
三谷 一郎  
若木 康孝  
◆昭31年  
池野 通(高橋)  
磯山 彰  
遠藤 恭子(山田)  
川端 春生(三橋)  
小林 啓子(小川)  
鈴木やす代(渥美)  
高尾 和子(杉本)  
塚本トメ子(佐藤)  
中矢 崇之(麻藤)  
松居 晃  
◆昭32年  
小西 圭子(城)  
滝沢 都子(吉田)  
◆昭33年  
内田 和子(阿部)  
小林 清明  
中河 健男  
◆昭34年  
乙部たみ子(新名)  
鹿島 節子(島田)  
車田 喜子(日野)  
古林 徹  
森木 紘子(太田)  
山村 正紀  
渡部 葉子(泉)  
◆昭35年  
池辺 弥生(星野)  
糸井 敏子(清水)  
大高 勝子(関)  
清水 幸明  
永沢 治子(山本)  
難波田久子(土井)  
三浦みさ子(江島)

- 山本 一智(高橋)  
◆昭36年  
我妻 真典  
遠藤 仁美(榎本)  
奥村 誠  
岸 靖子(大倉)  
倉持 俊義  
◆昭37年  
阿部多恵子(随原)  
小黒 由明  
小平 紀行  
酒井貴世子(野辺)  
南方 洋子(富田)  
野口寿美子(細野)  
橋立 昭武  
茂木 昭雄  
山口 洋子(上野)  
山住 暎子(福島)  
渡辺 光寛  
◆昭38年  
太田 和子(豊田)  
鎌倉 博子(橋場)  
喜多 英雄  
栗原 佳子(丸田)  
桜井 昭子(筒山)  
宮澤 博子(興津)  
◆昭39年  
上野美江子  
加藤 明子(中村)  
北田 照子(大山)  
能州 慶次  
盛岡 治英  
◆昭40年  
相澤 妙子(戸川)  
大西 政男  
篠崎 美幸  
高橋 和子(新川)  
橋 明  
八葉重正子(組橋)  
◆昭41年  
井村 忠

- 川添奈津子  
杉山 雅之  
原 淑子(近藤)  
別府 輝夫  
横田代志子(三谷)  
吉田 恵子  
渡辺由利子(高野)  
◆昭42年  
植原 美年子(川田)  
小田 達子(末永)  
佐古岡まさみ(畑中)  
鈴木 裕司  
高野 一義  
土井ひろみ(大滝)  
◆昭43年  
石川 明枝(石川)  
加藤 和子(大久保)  
常盤 清人  
豊野 英正  
中川 敏彰  
◆昭44年  
小蘭江 良明  
塚原 素子(長岡)  
松尾 佳子  
◆昭55年  
加藤 篤子(内藤)  
松上 恵一  
村上みな子(塚原)  
◆昭45年  
石田 悦子(丸山)  
粕谷 卓志  
吉田登志子  
◆昭46年  
酒井 義夫  
高野 均  
藤堂 順子  
若山 孝之  
◆昭47年  
尾崎 富雄  
柿沼 好明  
武田 正敏  
丹下 薫

- 長瀬 一平  
長谷川教子(高倉)  
◆昭48年  
小高 智子(池田)  
柏 英明  
須賀 福子(牧野)  
関口多鶴子  
◆昭49年  
石井 徳太郎  
今出 隆久  
上野 一成  
奥山 房男  
川島 清次  
高見 健二  
◆昭50年  
高見 節子(安原)  
大西 絹子(田口)  
永井すま子  
中山 勉  
◆昭53年  
中沢香代子(近間)  
◆昭54年  
塚原 素子(長岡)  
松尾 佳子  
◆昭55年  
笠嶋 太  
◆昭56年  
山本 節子(土橋)  
◆昭58年  
梓澤 秀昭  
◆昭61年  
嶋田 稔  
◆平5年  
雨宮 直子  
◆平11年  
吉田 宗弘  
◆平16年  
三輪 大雅  
◆令3年  
小中澤恵菜  
高野 光



## 2. 研究活動・全国大会

コロナ収束前につき未定

## 3. ホームページの充実について

ホームページを充実させるため努力をします。

- ①同窓生の同期会・クラス会・クラブ OB 会等、多くの情報を戴き発信します。
- ②既発行分の「やよい」の掲載を致します。
- ③卒業写真など掲載してまいります。

## 4. 向陵祭参加とホームカミング開催

本年度は未定

## 5. 同期会・クラス会等への通信費を助成致します。

同期会開催へ2万円、クラス会・クラブ OB 会へ5千円を助成致します。

報告文（会合の集合写真等を添えて）を総合連絡先にメール又は郵送して下さい。受取り次第、代表幹事の指定口座宛へお振込致します。

## 6. 各期住所録の提供

住所録については、個人情報保護を鑑み、各期の幹

事3名が指定申請書類に自筆による住所・氏名・押印をして総合連絡先にメール又は郵送して下さい。それを確認後、代表幹事又は指定幹事宛に送ります。

## 7. 広報誌の発行と発送

会員相互の意思の疎通を図るため広報誌を発行・発送致します。

会員・同期会・クラス会等の適切な投稿を歓迎します。原稿締め切りは、10月中旬。

## 8. 新卒業生には全員記念品特注印鑑セットを贈呈致します。

## 9. 年会費・寄付金ご協力のお願い

年会費は1口¥ 1,000 運営費としてご協賛をお願い致します。

年会費込み¥ 3,000 以上の送金は寄付金扱いと致します。



# 年会費納入と 寄付のお願い



会員の皆様には長年に亘りご支援を戴き誠にありがとうございます。

本会は、「会員相互の親睦と母校愛の高揚をもって、本校の発展に寄与する」ことを目的として、「同窓会総会」「全国大会」「会報誌」「向陵祭参加」「PTA 懇親」「卒業記念品」「周年記念品」「各学年同窓会支援」などの活動を行ってまいりました。

今後は、さらに「在校生への支援」にも力を注いでまいりたい所存です。

本会の活動は、皆様からの入会金及び年会費によって、安定した活動が行えます。しかし、年会費を入金していただける会員に限られており、会の運営が年々厳しくなっている現状です。

本会の発展と次世代へ継承していくために、本会の活動にご賛同いただき何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年度 総会資料

都立向丘高等学校同窓会

令和4年4月24日(日)

於：都立向丘高等学校6階多目的ホール

《 報告事項 》

[事業報告]

令和3年度分(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1. 役員会(幹事会)

令和3年8月8日(日)小川名誉顧問、宮久保会長宅見舞い、辞任届受理

令和3年8月15日(日)役員会

5名参加 於 田端新町町会会館

令和3年8月22日(日)宮久保会長宅弔問

小川名誉顧問、杉浦副会長、尾道副会長参加

令和3年10月3日(日)役員会

8名参加 於 東田端地域振興室

令和3年11月7日(日)役員会

8名参加 於 東田端地域振興室

2. 総会・懇親会

コロナ禍のため活動自粛

3. 研究活動・全国大会・向陵祭

コロナ禍のため活動自粛

4. ホームページの充実について

コロナ禍のため活動自粛

5. 会報関係

令和4年1月16日(日)役員会

8名参加 於 東田端地域振興室

令和4年3月1日(日)

卒業予行会に配布できるよう母校に会報を搬入

6. 渉外関係

令和3年10月19日(火)

小川名誉顧問と杉浦副会長が校長と副校長と面談

卒業式準備会

コロナ禍により中止

卒業予行会

コロナ禍により卒業生と教員のみ参加のため同窓会からの参加なし

卒業式

コロナ禍により卒業生と教員のみ参加のため同窓会からの参加なし

PTA主催の卒業式を祝う会

コロナ禍により中止

学校運営協議会 令和4年3月8日(火)田中相談役が参加(他に2回書面にて回答)

7. 卒対関係

令和4年3月7日(月)第71回卒業生278名(卒業生全員)に、入会記念品として個人用特注印鑑を予行日に各組担任先生からお渡し頂けるよう母校に搬入(決算報告)別紙掲載のとおり

《 審議事項 》

[事業計画案]

令和4年度分(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 総会・懇親会

令和5年4月23日(日) 会報32号1頁参照

令和3年度決算

収入の部	令和3年度決算 金額	令和4年度予算 金額
入会金(＠8000)	2,216,000	2,000,000
年会費(含寄付金)	8,000	800,000
総会懇親会費	0	100,000
全国大会費	0	0
諸会費	0	0
雑収入	0	0
前年度繰越金	5,848,773	5,738,029
収入合計	¥8,072,773	¥8,638,029

支出の部	金額	金額
全国大会関係費	0	150,000
交通費	39,820	100,000
通信印刷費	6,467	200,000
会議費	0	150,000
総会懇親会費	0	200,000
催物関係費	0	50,000
慶弔費	40,000	100,000
研究活動費	19,420	100,000
振興助成費	0	100,000
会報関係費	1,840,000	1,850,000
渉外費	5,709	50,000
開発費	58,228	300,000
生徒激励費	0	100,000
卒対費	125,100	100,000
周年準備金	200,000	200,000
雑費		10,000
支出合計	2,334,744	3,760,000
次年度繰越金	5,738,029	4,878,029
総合計	¥8,072,773	¥8,638,029

周年準備金 800,000  
ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会  
通常貯金残高 ¥4,238,029 定期貯金残高 ¥1,500,000

上記の通り収支報告申し上げます。  
令和4年4月24日 同窓会会長 杉浦 重治 ㊟  
会計 尾道 郁代 ㊟ 笹山 幸子 ㊟

監査の結果誤りのないことを認めます。  
令和4年4月10日 監事 浅野 雄一 ㊟ 井上 芳子 ㊟



# 同窓会役員名簿

令和5年1月31日現在

役職名	氏名	卒業年
顧問	新城 昇	歴代校長
〃	北村 透	〃
〃	北村 正生	〃
〃	石井 隆夫	〃
〃	戸谷 賢司	〃
〃	前 蘭 実	〃
〃	関 根 茂	〃
〃	神 能 精一	〃
〃	栞 原 爾	〃
〃	瀧 本 秀人 ?	〃
名誉会長	赤 嶺 治	校長
名誉顧問	小 川 力洋	31年卒
会長	杉 浦 重治	40年卒
副会長	中 村 恵太朗	45年卒
副会長	尾 道 郁代(大橋)	41年卒
幹事長	仙 谷 剛	45年卒
副幹事長	浦 野 良一	55年卒
書記	笹 山 幸子	46年卒
〃	佐々木 郁子(遠野)	47年卒
〃	今 井 美代子(清水)	61年卒
〃	目 黒 利 枝(菊池)	63年卒
〃	吉 中 奈美子(沼倉)	49年卒
会計	笹 山 幸子	46年卒
会計監事	浅 野 雄一	55年卒
〃	井 上 芳子	40年卒
相談役	川 端 春生(三橋)	31年卒
〃	田 中 正明	36年卒
事務局	石 井 久美子	副校長

## ◎役員を募集しています◎

### 各期幹事

星 直正	29年卒	斉藤 明良	48年卒
居村 正久	31年卒	千田二仁江	59年卒
友部 佳子(立川)	35年卒	10chidachan-hujie.10@ezweb.ne.jp	
坂井 右紀	41年卒	浅野 悠樹	61年卒
谷嶋二三男	41年卒	岩田 隆英	H6年卒
戸部 実	44年卒	iwatasana@gmail.com	
minprutobeadress@gmail.com		横山 李孝	H1年卒
佐川 海道	47年卒	soutakento@gmail.com	

### クラブOB会世話人

軟式テニス部	谷嶋二三男	41年卒
	f-tanesima@ac.auone_net.jp	
テニス部	長谷川広之	51年卒
	h09089490725@mopera.net	
サッカー部	仙谷 剛	45年卒
	tsuyoshi.senya@gmail.com	
フォークソング部	関本 知恵	52年卒
	s.chie.tukushi@gmail.com	



これは役員会の風景です。もっと面白い会報にしたい、もっと使いやすいホームページにしたい等、いろいろ検討しております。どうぞ役員会に参加して、知恵と力をお貸しください。

総合問合わせ先  
 (株)同窓会事務局  
 TEL: 0120-10-9899 (内線 77)  
 平日 10:00 ~ 17:00 (土日、祝日を除く)  
 FAX: 0120-10-9184 (終日受付)  
 HP: <http://www.egaomax.com/>



## 計 報

旧職員 隆旗 経雄 R3.6.29  
 S24卒 杉本 カツ  
 (旧姓 杉本)  
 S24卒 原 久子  
 (旧姓 新明)  
 S24卒 伊勢 モト  
 (旧姓 中井)  
 S25卒 保坂 芳子 R3.7.30  
 (旧姓 小島)  
 S27卒 奥原 弘久  
 S27卒 斎藤 英雄 R1.10.28  
 S27卒 相沢 登美子  
 (旧姓 関戸)  
 S28卒 前田 貴久恵 R3.10  
 (旧姓 田村)  
 S28卒 小口 トシ子 R3.12.23  
 (旧姓 飯塚)  
 S28卒 山野井 明 R3.2  
 S28卒 桑原 幸子 R3.2.16  
 (旧姓 阿部)  
 S29卒 兼崎 弘毅 R3.4.24  
 S29卒 上杉 益子  
 (旧姓 大沢)

S29卒 山内 治雄 R2.6  
 S30卒 山崎 知子 R3.3.24  
 S30卒 新井 昌子  
 (旧姓 五十嵐)  
 S30卒 佐藤 瑞枝 R1.11.21  
 (旧姓 加藤)  
 S31卒 平岡 正江 H30  
 (旧姓 山本)  
 S31卒 久保田 昭子 R2.7.12  
 (旧姓 吉池)  
 S31卒 鳥澤 智恵  
 (旧姓 吉田)  
 S31卒 栗栖 たつ子 R2.12.29  
 (旧姓 小嶋)  
 S33卒 手塚 重秋  
 S33卒 本江 博  
 S33卒 池田 齡子  
 (旧姓 伊藤)  
 S33卒 崎山 健一郎  
 S33卒 豊田 敬之  
 S34卒 若林 紀代子  
 (旧姓 三日尻)

S34卒 鈴木 紀 H24.4.15  
 (旧姓 芦原)  
 S35卒 大久保 圭子  
 S36卒 川上 洵司 R2.9.21  
 S36卒 新島 靖子 R2.12.21  
 (旧姓 伊上)  
 S37卒 布目 紳一郎 H27.9.8  
 S37卒 市川 信敬 R2.7.16  
 S40卒 上早稲 真由 R3.11.29  
 (旧姓 住吉)  
 S41卒 荻原 加代子 R2.11.13 (旧姓 松岡)  
 S41卒 小野 紀子 R2.11  
 S41卒 嶋原 邦充 R3.9.11  
 S41卒 菊地 正彦 R3.10  
 S43卒 伊東 康雄  
 S43卒 須永 秀夫 R1.5.2  
 S45卒 森 正昭 R3.11.17  
 S49卒 並木 努 R2.7.4  
 S50卒 本塚 純子 R1.11  
 (旧姓 柳沼)  
 S57卒 北島 重和 H21.9.14  
 S62卒 杉田 絵里 H31.1.2